

資 料 目 録

役 員 名 簿

編 集 後 記

研究報告資料目録

第10回 場所：国立がんセンター大講堂

日時：昭和41年9月10日(土)10.00~17.00

10-1	ラジオグラフィーにおけるX線量子の統計的ゆらぎと他の粒状性のウィーナスベクトルによる解析	土井邦雄	大日本塗料研	243頁
10-2	雑音のマスクング効果II(文章とX線像について)	木下幸次郎 菊地緑彦	NHK基礎研 "	262
10-3	オートフローログラフィに使用するコリメータの検討	竹中栄一	東大医放	
10-3	オートフローログラフィに使用するコリメータの検討	津田元久	島津	379
10-4	診断の定量化について	海垣洋一郎	国立がんセンター	369

第11回 場所：九州大学医学部附属病院中央放射線部会議室

日時：昭和41年12月3日(土)10.00~17.00

11-1	解 説	津田元久	島津	12
11-2	X線管焦点レスポンス関数の画像への影響	金森仁志	京都工繊大	66
11-3	被写体のスペクトルについて	木下幸次郎 菊地緑彦	NHK基礎研 "	75
11-3	被写体のスペクトルについて	竹中栄一	東大医放	
11-4	X線TV装置のS/Nについて	木下幸次郎 菊地緑彦	NHK基礎研 "	
11-4	X線TV装置のS/Nについて	竹中栄一	東大医放	
11-4	X線TV装置のS/Nについて	鏑晃一	芝電	
11-4	X線TV装置のS/Nについて	小沢甲子夫	NHKAK厚生	

第12回 場所：名古屋大学医学部附属病院内共済団2階大会議室

日時：昭和42年2月4日(土)10.00~15.00

12-1	増感紙-フィルム系のグラジェントとCross exposure比	土井邦雄	大日本塗料研	106
------	----------------------------------	------	--------	-----

12-2	拡大撮影用X線管球焦点のレスポンス 関数	奥村 寛 綾川 良雄 佐久間 貞行	愛知県がんセンター 名大放 "	67頁
12-3	直接X線用PbO ビデオコンのレスポ ンス	飛田 勝弘	名大放	145
12-4	X線像伝送系の倍率を含んだO.T.F.	木下幸次郎 中島 緑彦 竹中 栄一	NHK基礎研 " 東大医放	234
12-5	X-TV装置のS/Nとリップについ て	中島 緑彦 木下幸次郎 小沢 甲子夫 林 一成 鏑 晃一 白木 英成 矢仲 重信 野田 峰男	NHK基礎研 " NHK職員局 " 芝 電 日立 亀戸 " "	
12-6	粒状性研究における問題点	高野 正雄	富士フィルム	

第13回 場所：大阪大学事務局松下講堂4階第4会議室

日時：昭和42年6月10日(土)10.00~17.30

13-1	運動体の撮影法	佐藤長三郎 佐々木 稔 平城 実 三浦 典夫	横浜市立大学 " 大日本塗料研 "	276
13-2	被写体のスペクトルII	木下幸次郎 竹中 栄一 鏑 晃一	NHK基礎研 東大医放 芝 電	75
13-3	Scans in Measuring Wiener Spectra for Photographic Granu- larity	土井 邦雄	大日本塗料研	251
13-4	視覚系と放射線像の画質(第一報) 視覚系の正弦波レスポンスをめぐる 諸問題	藤村 郁夫 山本 勝昭	富士フィルム "	40

13-5	X線撮影における Technical dataの導出過程とその規格化	山崎 武	阪大微研放	371頁
13-6	I線影法によるX線間接撮影用レンズのMTF測定	桑山 武司	キャノンカメラ	132

第14回 場所：小西六写真工業株式会社本社会議室

日時：昭和42年9月9日(土)10.00~17.00

14-1	Grating 法による Response 関数の測定法 I 測定法の概要	藤村 郁夫 高野 正雄	富士フィルム "	48
14-2	散乱線の写真に及ぼす効果のレスポンス関数による評価	土井 邦雄 秋本 英治	大日本塗料研 "	90
14-3	医用蛍光板の二・三の特性	木下 幸次郎 中島 緑彦 竹中 栄一 鏝 晃一 滝口 隆	NHK基礎研 " 東大医放 芝 電 "	109
14-4	Radiograph の情報容量	金森 仁志	京都工織大学	224
14-5	X線テレビにおける運動と残像の一実験	野田 峰男	日立 亀戸	149

第15回 場所：京都農林年金会館

日時：昭和42年12月2日(土)10.00~17.00

15-1 a	放射線測定系のフーリエ解析 第2報 空中線量測定における電離槽線量計のレスポンス関数	内田 勝 森川 薫 前田 真行	阪大医放 " "	346
15-1 b	放射線測定系のフーリエ解析 第3報 深部線量測定における電離槽線量計のレスポンス関数	内田 勝 森川 薫 前田 真行	阪大医放 " "	350
15-1 c	放射線測定系のフーリエ解析 第5報 空間周波数領域における電離槽線量計の線質依存性	内田 勝 森川 薫 前田 真行 伊藤 博	阪大医放 " " 和 労 災 病	355

15-2	ラジオグラフィ用両面フィルムの ウィーナスベクトル	土井邦雄	大日本塗料研	258頁
15-3	イメージオルシコン管を用いたX線 テレビの1, 2の特性	矢仲重信 野田峰男	日立亀戸 "	153
15-4	被写体のスペクトルⅢ	中島緑彦 木下幸次郎 井内昭一 竹中栄一 鏑晃一	NHK基礎研 芝電気基礎研 " 東大医放 芝電気八王子	75
15-5	骨の散乱について	木下幸次郎 中島緑彦 竹中栄一 鏑晃一 滝口隆 井内昭一	NHK基礎研 " 東大医放 芝電 " "	99
15-6	^{192}Ir r線撮影系のレスポンス関数	前田 頌	日本原子力研究所	329
15-7	RIスキャニング系のレスポンス関数	竹中栄一 木下幸次郎 中島緑彦	東大放射線 芝電中央研 NHK基礎研	382

第16回 場所：名古屋大学医学部附属病院放射線科医局

日時：昭和43年2月24日(土)10.00~17.00

特別講演	電子計算機によるX線写真の情報処理 胸部X線写真のパターン認識	鳥脇純一郎	名古屋大	183
16-1	拡大撮影のレスポンス関数と感度	佐柳和男 土井邦雄	キャノンカメラ 大日本塗料研	287
16-2	シンチカメラのレスポンス関数と感度	服部浩之 金子昌生 佐々木常雄	愛知県がんセンター " "	391
16-3	第Ⅱ報F-回析による鮮鋭度と粒状性 の測定法	高野正雄	富士フィルム	60
16-4	X線テレビ像におけるイメージ増強と 垂直解像力	竹中栄一 鏑晃一 木下幸次郎	東大放 芝電 芝電基礎研	156

16-5 ^{192}Ir γ 線撮影系における拡大撮影と識別能 前田 頌 日本原子力研究所 294頁

第17回 場所：富士写真フィルム株式会社研究所

日時：昭和43年7月20日(土)10.00~17.00

17-1 直接撮影の S/N 比 土井 邦 雄 大日本塗料研 264
 17-2 Spark Chamberによる放射線分布像 宮沢 龍 雄 東芝中研
 17-3 中性子テレビ装置及びその応用 亀井 久 東芝中研
 17-4 半導体放射線検出器による γ 線スペクトルの電算機による解析 井上 多 門 東芝中研

第18回 場所：大阪府立成人病センター集検棟6階講堂

日時：昭和43年9月28日(土)10.00~16.00

18-1 最大情報量撮影 第21報 (高速連続撮影系の空間周波数特性) 内田 勝 阪大医療短大 304
 山下一也 阪大医病放
 若松 孝 司 //
 増田 一 考 //
 伊藤 慎 弥 //
 中西省 三 //

18-2 最大情報量撮影 第23報 ^{60}Co Radiography 系の空間周波数特性) 内田 勝 阪大医療短大 309
 林田 重 雄 池田病院放
 山本 義 憲 阪大医病放

18-3 ルミネッセンスの過度現象の周波数特性とこれを利用した時間分解分光法 土井 邦 雄 大日本塗料研 118
 十枝内 秋 男 //

18-4 a 同時二方向撮影の検討 第一報 (側方散乱の様相) 林 真 阪大医病放 313
 山下一也 //
 若松 孝 司 //

18-4 b 同時二方向撮影の検討 第二報 (側方散乱の解析) 内田 勝 阪大医療短大 320
 若松 孝 司 阪大医病放
 山下一也 //
 林 真 //
 段床 嘉 晴 //

18-5	フォトスキャンのMTF	速水昭宗 猪熊正克	阪大医放 阪大医RI	頁
------	-------------	--------------	---------------	---

第19回 場所：大阪大学医学部附属病院第4会議室

日時：昭和43年12月14日(土)10.00~16.00

19-1	写真画像の三次元的解析法	高野正雄	富士フィルム	124
19-2	可変視野イメージアンプリファイアの MTFについて	津田元久	島津製作所	168
19-3	イメージ管の解像力	長谷川伸	電気通信大学	175
19-4	粒状のとりあつかい	佐柳和男	キャノンカメラ	271

役 員 名 簿

(五十音順)

氏 名	勤務先及び所在地	phone
(顧問) 足 立 忠	東京医科歯科大学放射線医学教室 東京都文京区湯島3の1	812-4111
立 入 弘	大阪大学医学部放射線医学教室 大阪市福島区堂島浜通3の1	451-0051
宮 川 正	東京大学医学部放射線医学教室 東京都文京区本郷7の3の1	812-2111
(会長) 高 橋 信 次	名古屋大学医学部放射線医学教室 名古屋市昭和区鶴舞町65	741-2111
(常任委員) 内 田 勝	大阪大学医療技術短期大学部 豊中市待兼山町一番一号	豊中55-1281~3
佐々木 常 雄	名古屋大学医学部放射線医学教室 名古屋市昭和区鶴舞町65	741-2111
竹 中 栄 一	東京大学医学部放射線医学教室 東京都文京区本郷7の3の1	812-2111
(委員) 井 上 多 門	東芝中央研究所 神奈川県川崎市小向東芝町1	川崎51-2111
内 田 勝	大阪大学医療技術短期大学部 豊中市待兼山町1番1号	豊中55-1281~3
梅 垣 洋 一 郎	国立がんセンター放射線科 東京都中央区築地5の1	542-2511
金 森 仁 志	京都工芸繊維大学 電気工学教室 京都市左京区松ヶ崎御所海道町	78-4141
木 下 幸 次 郎	芝電気株式会社基礎研究所 東京都世田谷区野沢町3丁目4番16号	421-5111
佐々木 常 雄	名古屋大学医学部放射線医学教室 名古屋市昭和区鶴舞町65	741-2111
佐 柳 和 男	キャノンカメラ株式会社光学部 東京都大田区下丸子3の30の2	738-2111
高 野 正 雄	富士写真フィルム株式会社研究所 神奈川県足柄上郡南足柄中沼210	小田原23-1111
竹 中 栄 一	東京大学医学部放射線医学教室 東京都文京区本郷7の3の1	812-2111
津 田 元 久	島津製作所 京都市中京区西の京桑原町18	81-1111
土 井 邦 雄	大日本塗料株式会社 研究部 研究3課 神奈川県茅ヶ崎市幸町14番1号	82-2123

氏名 (委員)	勤務先及び所在地	phone
野田 峰 男	日立製作所亀戸工場 東京都江東区亀戸町8の180	681-1141
長谷川 伸	電気通信大学電子工学科 東京都調布市小島町14	調布2161
松田 一	大阪府立成人病センター放射線部 大阪市東成区森町南1丁目	

会 社 名 所 在 地

(賛助会員)

キャノンカメラ株式会社	東京都大田区下丸子3の30の2
小西六写真工業株式会社	東京都日野市日野6838
島津製作所	京都市中京区西の京桑原町18
大日本塗料株式会社	神奈川県茅ヶ崎市幸町14番1号
株式会社ナック	東京都中央区銀座西1の7
日立製作所亀戸工場	東京都江東区亀戸町8の180
富士写真フイルム株式会社	神奈川県足柄上郡南足柄町中沼210
東芝放射線株式会社	川崎市久本30番地
富士電機株式会社	東京都千代田区丸の内1の2 朝日生命会館
芝電気株式会社	東京都世田谷区野沢町3丁目4番16号

編 集 後 記

ここに“放射線像の研究”第2巻を発刊できたことは第1巻の発刊に劣らず喜ばしい。それはこの方面の研究が、本研究会設立後、満5カ年に亘って同じペースで発展していることを意味しているからである。また、この5カ年の間に会員の中から、工学の学位を授与されたもの4名、光学論文賞受賞者1名、学会宿題報告者1名を生んだことも本研究会の斯界への貢献のあらわれと考えてよいであろう。これらの現象が本研究会の功績の尺度となるかどうかは別としても、これみな会員諸氏のたゆまない努力と熱意のたまものである。本研究会将来の発展を約束しているものと確信するものである。

Student Powerの荒波は学問の世界にも遠慮会釈なくは入り込んで来ている。今年の各学会報告プログラムをみても、Student Powerの盛んな大学程その影響が大きくみられる。しかし、この社会改革の学生による問題提起が学問の世界において、量より質への変換を促がしたとすれば、禍転じて福となし得るであろう。

第1巻、第2巻を通読して遺憾に思うことが1つある。それは落穂拾いがほとんどされていないことである。単なる問題提起にとどまっているだけだからである。たとえば、X線管焦点の強度分布の改良が提起されているし、X線の統計的ゆらぎが受光系の現在以上の感度の上昇を押えていることも示されている。また、断層方式の改良も提案されている。どれ1つをとっても簡単ではなからうし、このようなことを専門にとりあげる大学、研究所もないであろう。しかし、問題提起だけでは、いわゆる“仏作って魂入れず”で結実は半減するであろう。やはり、本研究会の会員、ことに賛助会員であるメーカーは積極的にこれらの問題をとりあげ、研究成果を上げ、医療界に提示されることを切に望むものである。ここから医学者の積極的な参加がスタートするであろうし、それ以前に放射線技師の活動も始まるであろう。

これこそ、本研究会から賛助会員へのフィードバックであると考えて戴き度い。

この第2巻発刊と同時に、本研究会は満10年を目指して更に前進を続ける。研究白書、勧告、学術書出版と宿題は山積している。会員諸氏の暖かいご理解とご援助によって1つ1つ解決して行き度いと願っている。

今回も、印刷業務に渡辺龍史氏、印刷事務に木村多賀子嬢の献身的なご尽力を戴いた。厚くお礼を申し上げます。
(内田 記)

放射線像の研究	第2巻
発行日	昭和四十四年四月一日
編集責任者	内田 勝 佐々木常雄
発行者	竹中 栄一
	大阪府豊中市待兼山町一番一号 大阪大学 医療技術短期大学部内
	放射線イメージ・ インフォメーション 研究会 (R I I)
印刷者	R I I研究会印刷局
責任者	渡辺 龍史
定価	金千八百円